

日本の基礎学力：現状と展望

日時：2005年1月8日（土）・9日（日）

場所：東京大学 鉄門記念講堂（本郷キャンパス 医学部教育研究棟 14F）

● 最近発表された PISA、TIMSS の国際学力測定の結果で日本の子供の達成度がこれまでより低く現れたことが反響を呼んでいます。他方で義務教育国庫補助金の自治体委譲も大きな政治的課題となりました。日本の基礎教育は今、大きな曲がり角にあることは確実です。● しかし学力ランキングでの順位だけに注目した単純な危機論や単純な地方委譲論などは、日本の基礎学力形成のかかえる深い問題をむしろ歪曲してしまう恐れもあるのではないのでしょうか。● 学力国際比較からうけとめるべきものは何か。また地方のイニシアティブを活かしつつ、日本全体の学力育成システムを再構築するためには何が必要なのか。こうした問題を広い視野から議論するシンポジウムです。

1月8日（土） 13:30～

セッション1：国際学力調査をどううけとめるか

司会： 秋田喜代美（東京大学教授）

13:30～15:30 発表

PISA・TIMSSの結果概要	村山航（東京大学大学院博士課程，日本学術振興会特別研究員）
教育心理学の立場から	市川伸一（東京大学教授）
比較教育学の立場から	恒吉僚子（東京大学助教授）
コメント	金子元久（東京大学教授，基礎学力研究開発センター長）

15:30～16:00 休憩

16:00～17:00 討論

1月9日（日） 9:30～

セッション2：基礎学力形成における国と地域

司会： 矢野眞和（東京大学教授）

9:30～11:30 発表

基礎学力形成における国と地域	小川正人（東京大学教授）
市町村の取り組み：全国調査から	青木栄一（国立教育政策研究所研究員）
犬山市の取り組み	中嶋哲彦（名古屋大学教授，犬山市教育委員）
教育改革の現実	荻谷剛彦（東京大学教授）
教育行政からの視点	前川喜平（文部科学省初等中等教育企画課長）

11:30～11:45 休憩

11:45～12:45 討論

12:45～13:00 総括 — 佐藤学（東京大学教授，教育学研究科長）

- 1月8日（土）10～12時には、東京大学大学院教育学研究科 教育研究創発機構・学校臨床総合教育研究センター主催の公開研究会「塾からみた学校教育」が行われます。場所は東京大学本郷キャンパス赤門総合研究棟 200 番教室です。

一般公開・入場無料

参加のお申し込みはこちらまで
東京大学 基礎学力研究開発センター
Tel：03-5841-1398 Fax：03-5841-1400
e-mail：coe@p.u-tokyo.ac.jp